

みずほCustomer Desk Report 2018/04/25号(As of 2018/04/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.77	1.2210	132.80	1.3935	0.7603
SYD-NY High	109.20	1.2245	133.48	1.3987	0.7620
SYD-NY Low	108.55	1.2182	132.62	1.3919	0.7577
NY 5:00 PM	108.81	1.2233	133.08	1.3980	0.7603
NY DOW	24,024.13	▲ 424.56	日本2年債	-0.1400	▲1.00bp
NASDAQ	7,007.35	▲ 121.25	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,634.56	▲ 35.73	米国2年債	2.4725	▲0.39bp
日経平均	22,278.12	190.08	米国5年債	2.8270	0.53bp
TOPIX	1,769.75	18.96	米国10年債	2.9986	2.25bp
シカゴ日経先物	22,095	▲115.00	独10年債	0.6255	▲0.65bp
ロンドンFT	7,425.40	26.53	英10年債	1.5390	0.35bp
DAX	12,550.82	▲21.57	豪10年債	2.8400	▲2.45bp
ハンセン指数	30,636.24	381.84	USDJPY 1M Vol	7.41	▲0.14%
上海総合	3,128.93	60.92	USDJPY 3M Vol	7.75	▲0.04%
NY金	1,333.00	9.00	USDJPY 6M Vol	8.15	▲0.02%
WTI	67.70	▲0.94	USDJPY 1M 25RR	-0.63	Yen Call Over
CRB指数	200.08	▲0.64	EURJPY 3M Vol	7.45	▲0.32%
ドルインデックス	90.77	▲0.18	EURJPY 6M Vol	8.07	▲0.22%

東京

東京時間のドル円は108.77レベルでオープン。前日海外時間の米金利上昇を背景とした全般的なドル買いの流れを引き継ぎ、一時108.87まで上昇。その後は日経平均株価が上げ幅を拡大する動きとなった一方で、ドル円の反応は銃(108.80近辺)での狭いレンジ内で動きが継続。108.78レベルで海外へ渡った。また、豪ドルは対ドルで0.7603レベルでオープン。豪第1Q-CPI(前月比/前年比)が市場予想を下回る結果となると、年初来安値を更新し一時0.7577まで下落。しかし、H1ム平均値(前年比)は市場予想を上回ったこと等からすぐに反発に転じ、0.7612レベルで海外へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ロンドン市場のドル円108.78レベルでオープン。特段の材料無い中、オープンレベルを小動きし、108.80レベルでNYに渡った。1-ドルは1.2219レベルでオープン。4月IFO業況指数が102.1と、市場予想(102.7)以上の低下を示したこと、1.2182に下落。しかし、ECB理事会メンバーのピルワードガロー仏中銀総裁が1-円圏の成長鈍化は一時的なものと発言すると、1.2223まで買われ、1.2220レベルでNYに渡った。1-ドルは1.3945レベルでオープン。英4月製造業受注が5ヵ月ぶりの低水準となりと報道されたことでボンド買いが強まり、1.3967レベルでNYに渡った。(ロンドン・リリース 00531 444 179 山本)

ニューヨーク

海外市場で比較的狭いレンジでの推移が続いたドル円は、108.80レベルでNYオープン。朝方はドル買いが先行し、109円丁度を上抜けし109.06まで上昇する。その後一旦利益確定の売りで109円を割り込むものの、米3月新築住宅販売件数、4月消費者信頼感指数が予想を上回り、米10年債金利が2014年1月以来に3%台まで上昇する展開にて、ドル円は109.20まで上昇する。しかしこのレベルでは利益確定の売り意欲は強く、金利上昇を受け企業の資金調達コストが上がることを嫌気し、株式市場が大幅に下落する展開に円買い戻しも強まり、108.72まで反落する。午後に入り、トランプ大統領が「中国との貿易交渉が上手くいく、北朝鮮との間も色々なことが起きている」と話したものの、ドル円の反応は限定的となる一方、金利高を受けダウが500ドル超下落する展開にて、ドル円は108.55まで下落し、108.81レベルでクローズした。1-ドルは1.2222レベルでNYオープン。朝方はドル買いが先行し、1.2197まで反落するが、株式市場が堅調に推移する展開を受けた1-ドルの買いにユーロも下値をサポートされ、1.2235まで戻す。午後は調整からドル売りが優勢となったことから、1.2245まで買い戻され、1.2233レベルでクローズした。(NY井上)

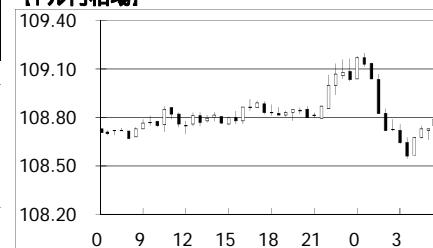
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月24日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	1Q	0.4%/1.9% 0.5%/2.0%
	10:30	豪 CPIトリム平均値(前期比/前年比)	1Q	0.5%/1.9% 0.5%/1.8%
	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	4月	102.1/98.7/105.7 102.8/99.5/106.0
	23:00	米 新築住宅販売件数	3月	694K 630K
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	4月	128.7 126.0

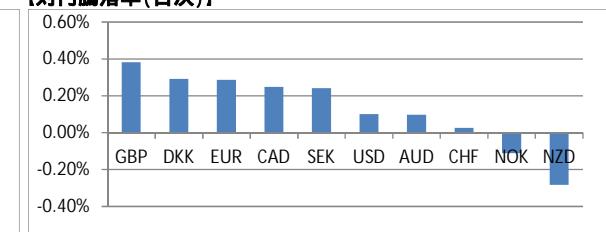
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月25日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	4.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.30 - 109.30	1.2140 - 1.2240	132.00 - 133.00

【マーケット・インプレッション】

昨日は米10年国債利回りが壁といわれている3%に接近した一方で株価は下落を免れたことからドルが全面高となった。北朝鮮問題で半島情勢が和らぐとの見方があり、またユーロ圏で景気慎重論が浮上しておりドルは対円、対ユーロともに買われやすい状況。本邦で政局が動けば円売りに慎重になる可能性もあるだろうが、それまではドル円も少し上値を追う展開が予想される。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:佐藤・森谷